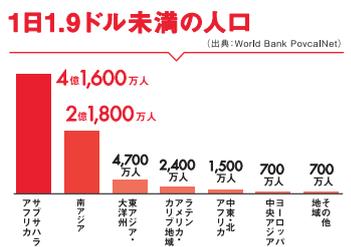




世界中の、あらゆる形の貧困を終わらせます。

1日1.9ドル未満で暮らす人の数は
7億3,400万人
地球上の10人に1人が国際貧困ライン以下の生活をしている状況です。



あらゆる形の貧困を終わらせるために必要なこと

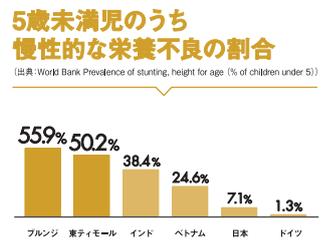
- 「貧困」には、お金がないだけでなく、右記のようなことも含まれます。このため、他のSDGs目標と一緒に取り組むことが大切です。

出典:「知ろう! SDGs x JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州



飢餓 (長い間食べられず、栄養不足になること) をなくし、全ての人が食料を安定して得られ、栄養状態が良くなるようにします。そのために、持続可能な農業を進めます。

5歳未満児のうち
約1億5,000万人
が慢性的な栄養不良。
これは世界の5歳未満児のうち
5人に1人(約22%)が慢性的な栄養不良という状況です。



世界の国々が合意したこと

- 子どもやお母さん、お年寄りを含むみんなが、安全で栄養のある食料を1年中手に入れられるようにします。
- 農業の生産性を増やして、小規模農家の収入を増やします。* 農業は環境を壊さないようにして、それぞれの地域の生物多様性や資源を守るように気をつけます(持続可能な農業)。* 生物多様性: たくさんの種類の生き物が複雑に関わり合い、様々な環境に合わせて生きていること

出典:「知ろう! SDGs x JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州



あらゆる年齢のすべての人が、健康で安心して満身に暮らせるようにします。

一年に**540万人**が5歳までに命を失っています。
また、開発途上で必要な医療を受けられる女性は全体の約半数にすぎません。



世界の国々が合意したこと

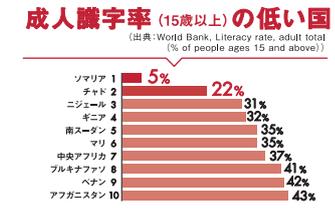
- 出産時に亡くなってしまうお母さんの数を減らします。
- 赤ちゃんや5歳未満の子どもが、防ぐことのできる病気で亡くなることのないようにします。
- HIV/エイズなどの感染症や、コレラなどの水によって感染する病気の流行を終わらせます。
- 全ての人が、質の高い医療を受けられるようにし、薬やワクチンを得られるようにします。

出典:「知ろう! SDGs x JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州



誰もが平等に質の高い教育を受けられるようにし、生涯にわたって学習できるようにします。

文字の読み書きができない人が
約7億5,000万人
そのうち、**3人に2人**が女性です。



世界の国々が合意したこと

安全で通いやすい学校を整え、資格のある先生の数を増やす、といった行動により、

- すべての子どもが男女の区別なく、質の高い初等教育と中等教育を終えることができるようになります。
- すべての人々が男女の区別なく、質の高い技術教育、職業教育を受けられるようになります。
- すべての若者及び多くの成人が、読み書き能力及び計算能力を身につけられるようになります。

出典:「知ろう! SDGs x JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

5 ジェンダー平等を
実現しよう



すべての人が性を理由に
差別されないジェンダー平等の
社会にし、すべての女性と
女の子のエンパワーメント
を図ります。
(力をつけること)

写真提供: 沼田幸恵/JICA

日本の働く女性の
賃金(平均)は

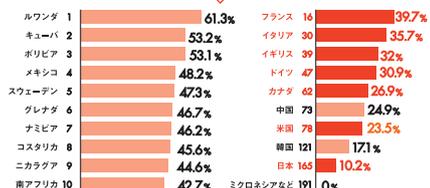
男性を

24%

下回っています。
(先進国でワースト2位)
(出典:OECD)

各国国会(下院)の女性議員比率 (2019年)

(出典:Inter-Parliamentary Union)



赤字は主要7カ国(G7)

世界の国々が合意したこと

- 女性と女の子に対するあらゆる差別を、世界のどの場所においてもなくします。
- 女性や女の子を身体的・精神的・性的に傷つけるような行為や慣習がおこなわれないようにします。
- 女性や女の子が平等に教育を受けられるようにします。
- 女性が雇用や給与、家事分担、土地や財産の取得、政治への参加などで差別されないようにします。

出典:「知ろうよ! SDGs×JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

6 安全な水とトイレ
を世界中に



すべての人が、
安全な水と
衛生的な環境を
得られるようにします。



写真提供: 久野真一/JICA

安全で管理された飲料水に
アクセス
できない人は、

全世界の29% (約21億人)

とされています(2015)。

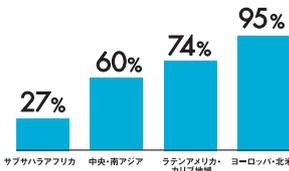
安全で管理された
衛生施設(トイレ)にアクセス
できない人は、

全世界の61% (約45億人)

とされています(2015)。
(出典:WHO/UNICEF Joint Monitoring Programme 2017)

安全で管理された
水にアクセスできる割合

(出典:UN Water Indicator 6.1.1 - Drinking water)



世界の国々が合意したこと

- すべての人が、水道や井戸などで安全な水を使うようになります。
- すべての人が、トイレや下水処理、ごみ処理などの衛生設備が整った環境で暮らせるようになります。

出典:「知ろうよ! SDGs×JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



すべての人に
手頃な価格で信頼でき、
持続可能で近代的な
エネルギーへのアクセスを
確保します。

写真提供: 久野真一/JICA

10億人近い人々は
電気を使うことが
できません。

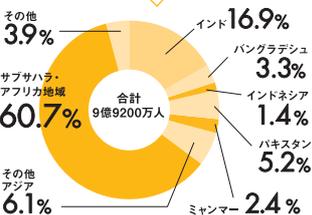
その多くは、サブサハラ・アフリカや
南アジア地域の国々で、
特に都市と地方のインフラ格差が、
課題になっています。



(注)サブサハラ・アフリカ:アフリカのうち、サハラ砂漠より南の地域

世界の地域別 未電化人口 (2017年)

(出典:IEA[World Energy Outlook 2018])



世界の国々が合意したこと

- 2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。
- 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
- 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

出典:「知ろうよ! SDGs×JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

8 働きがいも
経済成長も



環境を悪化させないように
経済成長を進めながら、
すべての人が
ディーセント・ワーク (働きがいのある
人間らしい仕事)
をできるようにします。

写真提供: 久野真一/JICA

2018年の
世界の失業者は

1億7,200万人。

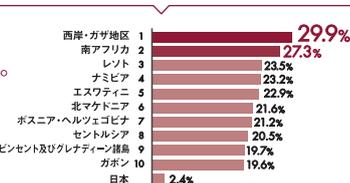
その多くが
若者です。



(出典:WORLD EMPLOYMENT SOCIAL OUTLOOK, TRENDS 2019, International Labour Organization)

世界で失業率の高い国々 (2019年)

(出典:World Bank, Unemployment, total(% of total labor force) (modeled ILO estimate))



世界の国々が合意したこと

- すべての人が、安全でやりがいのある仕事を得て、貧困から抜け出せるようになります。
- 物を作ったり、商品やサービスを買ったりする経済活動において、天然資源を大切に、守ります。
- 訓練を受けられる機会を増やすことで、仕事がない若者の数を減らします。
- 低い賃金と悪い労働環境で働かされる「児童労働」をなくしていきます。

出典:「知ろうよ! SDGs×JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



災害に強い
インフラを整備し、
技術研究を支援して、
産業の発展や起業を
促していきます。



写真提供：高橋智史/JICA

不十分な基礎インフラが、
産業の発展や
雇用の増加を
妨げています。



世界の国々が合意したこと

- 持続可能で災害に強いインフラを整備し、経済成長と人々の暮らしを支援します。
- 資金の提供や技術支援などで、小規模ビジネスを育てていきます。
- それぞれの国に必要とされる技術の研究を支援し、技術革新をめざします。

出典：「知ろうよ！SDGs×JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

基礎インフラって何？

道路、上下水道、通信、電力設備、鉄道などの公共設備です。

なぜ必要？

都市の整備や産業の発展に必要です。産業の発展は雇用の増加につながります。

技術革新を通じてどんな産業が期待されている？

広く公平で誰でも参加できる産業 資源を効率的に使い、地球環境に優しい産業

10 人や国の不平等をなくそう



国と国の間にある
不平等や、
国の中での不平等を
減らします。



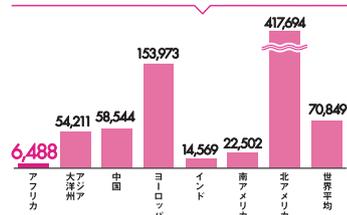
写真提供：久野政志/JICA

世界人口の

1%の富裕層が
世界の富の半分以上を
保持しています。

2019年 地域別
成人1人当たりの資産額 (単位:USドル)

(出典:Credit Suisse, The Global Wealth report)



世界の国々が合意したこと

- 特定のグループを差別するような法律や習慣をなくします。
- 弱い立場にある人を守る法律や政策を取り入れます。
- 国内の所得の低い人々の所得を増大させ所得格差を改善します。

出典：「知ろうよ！SDGs×JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

11 住み続けられるまちづくりを



都市を、誰もが受け入れられ、
安全で災害に強く、
ずっと住み続けられる
場所にします。



写真提供：久野真一/JICA

2050年には
都市人口が**67億人**
世界人口の
3分の2に達します。

(出典:Our World in Data)

2050年には世界の都市人口が
68%に達すると予測されています。



世界の国々が合意したこと

- すべての人が安全で住みやすい家や、水・電気などの必要なサービスを得られるようにします。
- 住民のまちづくりへの参加を確保し、子どもや女性、障害者、高齢者にとっても安全で生活しやすいまちにします。
- 災害に強いまちにします。
- 大気汚染を防ぎ、ゴミを管理して、都市の環境を改善します。

出典：「知ろうよ！SDGs×JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

12 つくる責任 つかう責任



生産と消費を、
持続可能な方法で
行っていきます。



写真提供：今村健志郎/JICA



毎年世界で
生産される食料の
3分の1
が消費されずに
捨てられています。

日本の年間食品廃棄物2,759万トン。
そのうちまだ食べられるのに
廃棄される食品＝食品ロス 2016年度 **643万トン**

これは世界の食糧
援助量年間
380万トンの**1.7倍**
380万トン
643万トン

国民**1人**当たり お茶碗**1杯**分の
食べ物を毎日捨てている計算。
国民1人当たりの食品ロス量 1日約**139g**
※茶碗約1杯のご飯の量に相当
日本の年間食品ロス量 **643万トン**
世界食品ロス量 **352万トン**(55%)
資料:総務省人口推計(28年度) 平成28年度食料需給表(概算値)

世界の国々が合意したこと

- 一人当たりの捨てられる食べ物の量を世界全体で半分に減らします。そのため人と企業が一緒に取り組みます。
- 空気や水、土を汚さずに、有害な化学物質がきちんと管理されるようにします。
- 3R (リデュース:ごみの量を減らすこと、リユース:一度使って捨てるのではなく何回か使うこと、リサイクル:使ったものをもう一度資源に生まれ変わらせること)をとおして、廃棄物(ゴミ)を減らします。

出典：「知ろうよ！SDGs×JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

13 気候変動に
具体的な対策を



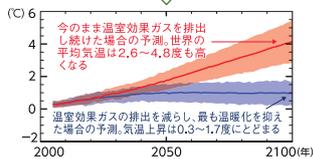
気候変動や、
それによる影響を
止めるために、
すぐに行動を起こします。

写真提供: 日本気候/JICA

気温の上昇により、2019年までの30年間に 温暖化の予測 (出典: IPCC [CLIMATE CHANGE 2013])

約**270**万km²の
北極の氷が減少しました。
(日本の面積の約7倍に相当。)

(出典: NASA GLOBAL CLIMATE CHANGE)



気候変動の原因

- 人間の活動による二酸化炭素などの温室効果ガスの排出。
- 二酸化炭素を吸収する森林の破壊。

気候変動によって引き起こしている影響

- ゲリラ豪雨、台風の規模拡大、干ばつ・山火事などの深刻化
- サンゴの死滅、食料生産・漁獲量の減少、マラリア等感染症の拡大

世界の国々が合意したこと

- 化石燃料の使用を減らし、温暖化を抑えます。
*2015年に、温室効果ガスの排出量削減をめざすパリ協定が合意されました。

出典: 「知ろう! SDGs x JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

14 海の豊かさを
守ろう



きれいな海と、
魚などの海の資源を保全し、
持続可能な方法で
利用します。

写真提供: 今村健志/JICA

2050年には
海洋プラスチックごみの量が
魚の量を上回ると
予想されています。

(出典: World Economic Forum (2016) New Plastics Economy: Rethinking the future of Plastics)



写真提供: 今村健志/JICA

世界の国々が合意したこと

- プラスチックごみなどの、人間の活動による海の汚染を減らします。
- 違法な漁業や魚のとりすぎを取り締まり、海の資源を保全します。
- 海の生態系(*)を守ります。
*生態系: 生き物と、それらが暮らす環境がバランスよく成り立っている仕組み。
- 貧しい国や小さい島国に対して、海の資源をきちんと保護・管理できるよう支援します。

出典: 「知ろう! SDGs x JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

15 陸の豊かさも
守ろう



森林を守り、再生し、
持続可能な方法で利用します。
生物多様性(*)が
失われることを防ぎます。

*生物多様性: たくさんの種類の生き物が様々な環境に合わせて生きていること

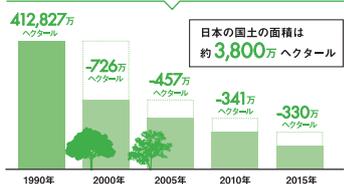
写真提供: 今村健志/JICA

世界では毎年、
日本の面積の

14%に相当する
森林が失われて
います。

地球上で失われた森林

(出典: 世界森林資源評価2015)



世界の国々が合意したこと

- 森林破壊を減らし、森林を再生して、砂漠がこれ以上増えないようにします。
- 森林をきちんと管理し、持続可能な方法で利用します。
- 陸の生態系(*)を守ります。
*生態系: 生き物と、それらが暮らす環境がバランスよく成り立っている仕組み
- 絶滅の危機にある生き物を保護し、生物多様性が失われることを防ぎます。

出典: 「知ろう! SDGs x JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

16 平和と公正を
すべての人に



ぎゃくたい
暴力や虐待のない
平和な社会、
誰もが法によって守られる
社会をつくれます。

写真提供: 久野真一/JICA

紛争や迫害から逃れた
難民や避難民は

7,000万人
を超えました。



増え続ける難民と国内避難民



おもな難民流出国

1位	シリア	670万人
2位	アフガニスタン	270万人
3位	南スーダン	230万人
4位	ミャンマー	110万人
5位	ソマリア	90万人

世界の国々が合意したこと

- 紛争やテロリズムを防ぎ、暴力や、暴力による死をなくします。
- 虐待、搾取、人身取引(*)など、子どもに対するあらゆる形の暴力をなくします。
*虐待: 暴力をふるったり、必要な世話をしなかったり、ひどい言葉を浴びせつづけたること。
*搾取: 労働に対するお金をきちんと払わずに働かせること。
*人身取引: 人間を売ったり買ったりすること。
- 全ての人が、国内でも海外でも、平等に司法を利用でき、法によって守られるようにします。

出典: 「知ろう! SDGs x JICA 地球の未来のために“しぶんごと”として取り組む17の目標」JICA九州

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



SDGs達成のため、
各国の政府、市民、民間企業、
民間団体、教育・研究者を含む
全員が“One Team”で
結束します。



写真提供：久野真一/JICA

持続可能な
開発目標 (SDGs)は
私たち全員に
関係があります。



目標1から目標16までを達成するために、世界の国々が合意したこと

- 2030年までに、すべての国が目標を達成できるように助け合います。
- それぞれの国が、国内の政策の中に「SDGs達成」を盛り込み、国の予算を使うようにします。
- 国と国の間だけでなく、企業、大学、市民、NGOなど色々なレベルでの協力を進めます。

出典：「知ろうよ！SDGs×JICA 地球の未来のために“しごと”として取り組む17の目標」JICA九州



THE GLOBAL GOALS

For Sustainable Development

持続可能な開発のための目標

People (人間)
世界の貧困をなくす



Prosperity (繁栄)
「つづく経済」をつくる



Planet (地球)
環境を守り育てる



Peace (平和)
Partnership (協働)
SDGsを実現の、資金と協力関係

